

# 生後2か月になったら、 5種混合ワクチンの 接種を受けましょう！



監修：川崎医科大学 小児科学 特任教授  
中野貴司 先生

## 5種混合ワクチンの予防対象疾患

- ジフテリア
- 百日せき
- 破傷風
- インフルエンザ菌b型(ヒブ)
- ポリオ



衛生の向上や予防接種の普及により国内ではほとんどみない疾患でも予防接種により免疫を獲得しておくことが大切です。

## 以下に該当する方は接種を控えてください

- 37.5℃以上の発熱がある人
- 急性の重い疾患にかかっている人
- 過去に5種混合ワクチンの成分でアナフィラキシー\*を起こしたことがある人
- その他、医師が予防接種を行うことが不相当だと判断した人

\*アナフィラキシー

全身性のアレルギー反応で、通常、接種後約30分以内に起こることが多い。顔が急に腫れる、全身にじんましんが出る、息が苦しい、吐き気、嘔吐、汗がたくさん出るなどの激しい全身反応。

## 5種混合ワクチンの接種はいつ受けたらいいですか？



生後2か月になったら  
接種を受けましょう！

5種混合ワクチンで予防できる疾患は乳幼児がかかりやすく、低月齢児で重症化する百日せきや0～1歳で頻度の高いヒブ感染症などが含まれています。早めの接種開始でしっかり予防しましょう。

合計4回の接種を  
完了させることが大切です。



3回目までの接種は基礎となる免疫を得るために必要です。さらに、3回目から6か月以上の間隔をあけて接種する4回目は“ブースター効果”といって3回目までの接種よりも高い免疫(抗体価)を得ることを目的として接種されます。

## 5種混合ワクチンの接種方法について

接種を受けるお子様の年齢や体格に合わせて接種方法や接種部位が考慮されます。

### 皮下接種

皮下接種部位は、通常は上腕の後ろ寄りから下から3分の1の部位、あるいは上部の三角筋相当部位の皮下とされています。

他の候補部位として、太ももの前外側部があります。



上腕の後ろ寄り  
下から3分の1



三角筋



太ももの前外側部

### 筋肉内接種

これまで日本のワクチン接種で一般的だった皮下接種に加えて、筋肉内接種も可能です。

1歳未満の筋肉内接種は  
太ももに接種します。



筋肉内接種の方が接種部位の局所反応（腫れ・しこり・紅斑など）が少ないとされています。1歳未満での筋肉内接種は大腿前外側部（太ももの前側で外側寄り）が標準とされています。

接種に際しては、医師・看護師の指示に従ってください。

## 予防接種を受けた後に注意すること

接種後しばらくの間は様子を確認し、急な副反応が起こった場合に備えて、いつでも医師と連絡が取れるようにしておきましょう。



接種当日は、激しい運動は避けて接種部位を清潔に保ちます。また、接種当日の入浴は可能ですが接種部位をこすらないように注意しましょう。

- 接種後に接種部位が赤く腫れたり、痛んだりすることがありますが通常2～3日で治ります。
- もし、高熱やけいれん、腕全体が腫れるような異常反応、体調の変化があれば速やかに医師の診察を受けましょう。



他にも何かご心配なことがありましたら、  
医師、看護師にご相談ください。

健康にアイデアを

**meiji**

Meiji Seika ファルマ株式会社

健康にアイデアを

**kmb**

KMバイオロジクス株式会社

QV000801©

(KY)

作成：2024.3

02M-25Y